

# 米国主要学会の概要

学会名		American Geophysical Union(AGU)(米国地球物理学会)	IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)(電気電子学会)	IEEE-USA	American College of Physicians(ACP)(ワシントン事務所)(米国内科学会)	American Sociological Association(ASA)(米国社会学会)
・組織の概要						
	設立年	1919年NRC(National Research Council)の傘下団体として発足、1972年自立	1963年(American Institute of Electrical Engineers(1884年設立)とInstitute of Radio Engineers(1912年設立)が統	1973年	1915年	1905年
	目的	地球物理学の振興及び研究成果の普及、関連学会との協力促進、研究事業の推進、地球物理学上の法則の提唱	電気電子工学・コンピューター関連科学技術等の理論・応用の進展、上記科学技術関連の職業に従事する会員の地位向上(労働条件は除く)	IEEEの米国支部として米国会員の支援、米国政府への提言	医療行為の向上及び専門性の醸成を通じて健康管理の質と効果を増進	社会学を公共善に奉仕する科学規範及び職業として推進
	会員数及び内訳	約48,000人(2006)、学生会員約18%、140ヶ国の外国会員	約367,000人(150ヶ国以上)、うち約74,000人は学生、企業関係48.4%、学術関係26.5%(2005)	約220,000人	約119,000人、学生含むが大半は医師(臨床医が多数)	約12,000人、学生を含む
	法人格	非営利団体(501c(3))	非営利団体(501c(3))	非営利団体(501c(3))	非営利団体(501c(3))	非営利団体(501c(3))
	本部及び支部	ワシントンに本部、支部なし	NYに本部、10のregion、311のsection、1570のsection	ワシントンに本部	フィラデルフィアに本部、50州・ワシントンDC・米陸海空軍・カナダ・日本に支部	ワシントンに本部
	本部施設	日本大使館近くの6階建自社ビルの一部	マンハッタン中心部の高層ビル内	ワシントン中心街のオフィスビル内	ワシントン事務所は中心街のオフィスビル内	中心街、大学関係団体所有のビル内
	研究分野別組織	11のSection、9のFocus Group	39のsociety、5のtechnical council			マイノリティ、ジェンダーなど43のsection
	事務組織	出版、アウトリーチ及び研究支援、総務等に関する課	教育活動理事会、出版サービス・製品理事会、地域活動理事会、基準担当部、技術活動理事会、理事会報告委員会等			学術・専門事項、ビジネス・オフィス、ガバナンス等、会議サービス、会員サービス等、マイノリティ向け事業、広報、出版、調査研究、技術情報、庶務等に関
	職員数	定員175人(欠員20人)	約900人	23人(ボランティア約900人)	本部約300人、ワシントン事務所約40人	
・財政	(会費以外いずれも概数)					
	資産	7,242万ドル(2005)	3億1,766万ドル(2005)			1億7,089万ドル(2006)
	負債	2,463万ドル	1億4,894万ドル			8,376万ドル
	正味資産	4,779万ドル	1億6,872万ドル			8,713万ドル
	収入総額	3,417万ドル(2005)	2億9,728万ドル(2005)			6,597万ドル(2006)

# 米国主要学会の概要

学会名		American Geophysical Union(AGU)(米国地球物理学会)	IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)(電気電子学会)	IEEE-USA	American College of Physicians(ACP)(ワシントン事務所)(米国内科学会)	American Sociological Association(ASA)(米国社会学会)
	主な収入	出版2,061万ドル、研究集会491万ドル、投資395万ドル、助成金等238万ドル、会費74万ドル	会費5,899万ドル、出版物1億182万ドル、研究集会1億658万ドル、スタンダード1,609万ドル、投資1,246万ドル			会費2,375万ドル、研究集会878万ドル、広告758万ドル、助成金・寄付731万ドル
	支出総額	2,897万ドル	2億6,698万ドル			6,920万ドル
	主な支出	出版1,423万ドル、運営費509万ドル、研究集会319万ドル	会員対応6,025万ドル、出版物9,191万ドル、研究集会9,283万ドル			運営費2,586万ドル、出版1,201万ドル、教育事業1,070万ドル
	年会費	会員20ドル、学生会員7ドル等	プロフェッショナル会員(正会員)161ドル、学生会員30ドル(米、他地域はこれより低額)、society等に参加するには別会	基礎会費150ドル、特典に応じて加算	正会員年425ドル(米国在住、医学部卒業後9年以上の場合)、学生会員無料	正会員年23~171ドル(所得により変動)、学生会員年18ドル、機関誌等購読は別途
. 活動状況						
	出版物	機関誌17種類等	機関誌98種類、雑誌36種類等		機関誌2、雑誌1、ニュースレター1	10種類の機関誌
	電子媒体による情報提供	一部電子化、記事の要旨は誰でも閲覧可、機関誌購読者は全文閲覧可	会員は全てウェブで閲覧可		週刊Eメール・ニュース	会員は機関誌全てをウェブで閲覧可能、またJSTOR(商業データベース)からも7種類の機関誌を閲覧可能
	会議	年次大会(約11,000人参加)	年次大会、地区やsocietyごとの会議など388回(2005)		年次大会(3日間)、州支部大会など	年次大会(約5,000人参加)
. アカデミーとの関係						
	NASとの関係	1972以前はNASの中のNRC傘下			IOM(Institute of Medicine)には多くの会員参加	
	NSFとの関係	研究資金助成				研究資金助成
	その他					COSSA(Consortium of Social Science Associations)の一員として政府への提言活動を連携して実施
. 研究者支援						
	奨学金	奨励賞(年50人程度)	学生会員向け奨学金(上限年25万ドル)			マイノリティの博士課程学生向け奨学金(年間20人、年15,000ドル、最長3年)等
	公募研究就職支援		ウェブ上で職業紹介等			ウェブ上で職業紹介等
	賞、表彰等		優秀会員の表彰、技術分野ごとに26の賞金、教育分野で2つの賞、論文に対する賞等			優秀図書等に対する9 <sub>2</sub> つの賞

# 米国主要学会の概要

学会名		American Geophysical Union(AGU) (米国地球物理学会)	IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers) (電気電子学会)	IEEE - USA	American College of Physicians(ACP) (ワシントン事務所) (米国内科学会)	American Sociological Association(ASA) (米国社会学会)
	その他				健康管理向上のための小規模開業医への助成 (パイロット事	
・ 広報・アウトリーチ						
	一般向け広報				肥満防止キャンペーンの実施等	
	教育関連活動		大学の工学部の教育課程に対するアクレディテーション			
	その他		途上国への技術支援			
・ 外部交流						
	他の学協会との連携	機関紙の概要の送付、国内中小学会や外国学会の機関誌の概要をウェブに掲載してイン			家庭医学会、小児科学会等と連携して健康情報技術の開発等、中小の学会と役割分担	
	その他	新興学会に事務所を賃貸				途上国の社会学者向けに低額の会費で全ての機関誌をウェブ上で購読できる事業を2008年から開始予定
・ 運営基盤強化						
	賛助会員	個人100ドル～、団体2,300ドル～			年会費255ドル	
	民間企業との連携	地球温暖化の関係があり困難な場合が多い			政府への提言活動において課題により保険会社と連携 (対立)	
	収益事業	株式等への投資	株式等への投資		株式等への投資	株式等への投資
	その他			技術基準の策定・改訂及びこれに基づく企業の認証	資金提供団体としてACP Foundationを99年設置、年間約278万ドル(2006)を獲得	
・ その他特記事項			会員は科学者・技術者である必要はない、例えばコンピューター関連企業の事務職でも加入可	ASME, ACMとは協力者でもあるが基準認証をめぐる競争者でもある	American Medical Association(AMA)の方が規模としては大きく(日本の医師会に相当?)、専ら政治的圧力団体として活動(かつてはACPに加入すると自動的にAMAの会員にもなった)	学会に所属せずに活動する社会学者も多く、彼らへのアプローチが困難

# 米国主要学会の概要

学会名		American Physical Society(APS)(米国物理学会)	Association for Computing Machinery(ACM)(米国情報機械工学会)	American Society of Mechanical Engineers(ASME)(米国機械工学会)	American Economic Association(AEA)(米国経済学会)
・組織の概要					
	設立年	1899年	1947年	1880年	1885年
	目的	物理学の指導的役割、科学発展のため他学会と協力、諸外国の学会との協力、会員の研究活動の支援	科学・情報技術の応用等の進展に寄与	会員の技術能力と専門家としての幸福を増進するとともに、機械工学における質の高い事業・活動を通じて技術者たちが人類の幸福によりよく貢献できるよう支援	経済学、特に産業生活の実情に関する歴史的・統計的調査研究の奨励、経済上の課題に関する出版、経済学上の議論における完全な自由の奨励
	会員数及び内訳	約46,000人、うち約10,000人が学生、約10,000人が海外会員	約83,000人、うち学生約20,000人、約3分の1が海外会員	約125,000人、うち学生約20,000人、科学者約6,000人、他は技術者	約18,000人、うち学生約10%、約半分は科学者
	法人格	非営利団体(501c(3))	非営利団体(501c(3))	非営利団体(501c(3))	非営利団体(501c(3))
	本部及び支部	メリーランド州に本部及び経理部、ワシントンに広報部、ニューヨーク州に出版部	ニューヨークに本部、ワシントンに事務所	ニューヨークに本部、ニュージャージー州にサービス・センターと情報センター、ワシントンに事務所、ブラッセルにヨーロッパ事務所、アトランタにガス・タービン国際協会、ヒューストンに石油国際協会	ナッシュヴィルに本部、ピッツバーグに出版部
	本部施設	メリーランド大学近くの5階建自社ビルの一部	ニューヨーク・ペン駅真上の高層ビル内	マンハッタン中心部の高層ビル内	ヴァンダービルト大学キャンパス近くの雑居ビル内
	研究分野別組織		34のSIG(Special Interest Group)	基準・規則策定等に関する9の委員会、分野ごとに学会と企業の技術交流の場を提供する4のinstitute(協会)	経済教育、マイノリティの経済学者育成、女性経済学者育成、経済学研究に関する委員会
	事務組織	(本部)教育 & アウトリーチ、会員、会議、国際、情報技術等に関する課	総務、人事、政策、情報システム、会計、会員、出版等に関する課	財政・総務、サービス、知識 & コミュニティ、協会、規則 & 基準、運営戦略に関する課、教育等4つのセンター	(本部)総務、会議に関する課
	職員数	本部約60人、広報部5人、出版部約150人、経理部約20人	本部約75人、ワシントン事務所2人	約300人(最近約100人削減)、ワシントン事務所8人	本部10人、ピッツバーグ事務所35人
・財政	(会費以外いずれも概数)				
	資産	1億1,167万ドル(2005)	5,354万ドル(2004)	9,403万ドル(2005)	1,692万ドル(2005)
	負債	3,025万ドル	2,147万ドル	3,168万ドル	362万ドル
	正味資産	8,143万ドル	3,207万ドル	6,234万ドル	1,330万ドル
	収入総額	4,409万ドル(2005)	5,108万ドル(2004)	7,163万ドル(2005)	716万ドル(2005)

# 米国主要学会の概要

学会名		American Physical Society(APS)(米国物理学会)	Association for Computing Machinery(ACM)(米国情報機械工学会)	American Society of Mechanical Engineers(ASME)(米国機械工学会)	American Economic Association(AEA)(米国経済学会)
	主な収入	出版3,402万ドル、研究集会397万ドル、会費335万ドル	研究集会2,594万ドル、出版1,532万ドル、会費471万ドル	規則・基準認証3,581万ドル、会費・出版・研究集会等2,108万ドル	会費等299万ドル、機関誌データベース使用料253万ドル
	支出総額	4,226万ドル	4,677万ドル	6,835万ドル	541万ドル
	主な支出	出版2,889万ドル、研究集会345万ドル、会員対応342万ドル、広報452万ドル	研究集会2,301万ドル、出版9,937万ドル、会員対応101万ドル	会員対応・出版・研究集会等2,023万ドル、規則・基準認証1,985万ドル	出版424万ドル
	年会費	正会員年112ドル、学生会員年28ドル等	正会員年99ドル(デジタル・ライブラリー利用料込みで198ドル)、学生会員年19ドル(同62ドル)等	正会員年126ドル(ただし卒業後4年以内は割引)、学生会員年25ドル	正会員年64~90ドル(所得に応じ変動)、学生会員年32ドル
. 活動状況					
	出版物	機関誌3("Physical Review Letters"18万部)、会員向け月刊ニュース、各分野の論文誌、ニュースレター等	機関誌2、雑誌2、分野別会報23等	機関誌1、書籍等	機関誌3、今年からさらに4誌創刊
	電子媒体による情報提供	機関誌は全てウェブで閲覧可能、学生向けに機関紙中の記事の一部を無料でメール配信	会員は1950年代以降の出版物をデジタル・ライブラリーで閲覧可能	一部はウェブで閲覧可能	1969年以降の機関誌はデジタル・アーカイブ化(EconLit)
	会議	年次大会(3月:5日間、約6,600人、4月:4日間、約1,100人)、分野ごとの研究会合	年次総会(約7,500人)、SIGによる会議が年約120回	年次総会(約3,000人)、分野横断&国際会議23、分野別会議46(2006)	年次総会(約9,000人)、関連約50学会と共催
. アカデミーとの関係					
	NASとの関係			Engineer's Weekにおける広報協力	
	NSFとの関係	研究資金助成	研究資金助成	研究資金助成	女性・マイノリティ経済学者育成のための助成
	その他	かつてAIP(American Institute of Physics)と主導権争いがあったが、現在では協力関係			
. 研究者支援					
	奨学金			学部生に年3,000ドルの奨学金、他に学生向けローンも実施、博士課程学生には年5,000ドルの奨学金(4人)	
	公募研究就職支援	年次大会で支援コーナー設置		ウェブ上で職業紹介	ウェブ上で職業紹介
	賞、表彰等		顕著な功績のあった会員表彰		顕著な功績のあった会員表彰

# 米国主要学会の概要

学会名		American Physical Society(APS)(米国物理学会)	Association for Computing Machinery(ACM)(米国情報機械工学会)	American Society of Mechanical Engineers(ASME)(米国機械工学会)	American Economic Association(AEA)(米国経済学会)
	その他				
・広報・アウトリーチ					
	一般向け広報				
	教育関連活動	AAPT(American Association for Physics Teachers)と協力して実施、IEEE-USAと共催で研究会合	CSTA(Computing Science Teachers Association)による教育・政策提言活動を支援	大学の機械工学科に関するアクレディテーション、American Society of Civil Engineers(ASCE)及びIEEEと共同で教員向け教材を開発	
	その他				
・外部交流					
	他の学協会との連携	AIP(American Institute of Physics)の傘下		American Association of Engineering Societies(AAES)の傘下	年次総会を関連学会と共催
	その他				
・運営基盤強化					
	賛助会員				
	民間企業との連携	企業と連携してロビイング活動		Instituteにおいて企業と連携、学生向けイベントにも支援	
	収益事業	株式等への投資	株式等への投資	株式等への投資	
	その他		技術基準認証に関する活動は行っていない(IEEEとの相違)		
・その他特記事項			SIGが企業等の支援を得ることで研究活動推進だけでなく学生への研究支援、国際交流等の中心的役割	2006年中国機械工学会と共催で北京で国際機械工学教育会議を開催	非党派性を堅持(例:ベトナム戦争反対決議行わず)、現在の幹部がヴァンダービルト大学勤務のためナッシュビルに本部(以前の本部はボストン)